

❖  
目  
次

小説

緩衝溶液

.....

0  
1  
5

遊離層

.....

1  
1  
9

弾性限界

.....

1  
9  
5

まなざしの壁

.....

2  
2  
9

錯迷

.....

2  
9  
5

仮面

.....

3  
5  
3

あぶら蟬

.....

3  
9  
7

月食

.....

4  
2  
9

剝離

.....

4  
6  
5

空白の人

.....

4  
8  
7

土の悲しみ

.....

5  
1  
1

一匹の羊	.....	547
土の悲しみ	.....	555
在日朝鮮人の親と子	.....	558
カタルシスを求めて	.....	564
感動ある小説	.....	568
M君のこと	.....	571
「じつは――」の憂鬱	.....	575
選挙権と「ガイロク」のこと	.....	578
他者を理解するということ	.....	581
出会い	.....	585
スペクトル	.....	588
吃音講演	.....	591
無口の譜	.....	594
外国としての韓国	.....	597
その一年	.....	601
新しい世代の胎動	.....	604
『凍える口』のこと	.....	607
心はあじさいの花	.....	610

書評

人間の広場を求めて	.....	617
アローハ!	.....	623
新しい在日朝鮮人	.....	629
針のむしろか、血の池か	.....	635

習作・小品

ゴルフの球と夜のサタン	.....	643
にごり酒	.....	650
鉄の音	.....	660

❖――追悼・論考

金鶴泳のこと	.....	671
暴力としてのナショナル・アイデンティティ	.....	689
苦しみの由来	.....	716

❖ 竹田青嗣

略年譜	.....	728
著書目録	.....	733